

Sun Java™ Enterprise System リリースノート (Microsoft Windows 版)

バージョン 2005Q4

Part No. 819-5794

このリリースノートには、Sun Java Enterprise System 2005Q4 (Microsoft Windows 版) がリリースされた時点で入手可能な重要な情報が含まれています。ここでは、既知の制限事項と問題点、技術情報、およびその他の情報が説明されています。Java Enterprise System の使用を開始する前に、このリリースノートをお読みください。

このリリースノートの最新版は、Sun Java Enterprise System マニュアルの Web サイト <http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q4> で参照できます。ソフトウェアをインストールおよび設定する前、およびそれ以降も定期的にこの Web サイトをチェックして、最新のリリースノートと製品マニュアルを確認してください。

このリリースノートには、以下の節が含まれています。

- [コンポーネントのリリースノート](#)
- [リリースノートの改訂履歴](#)
- [Sun Java Enterprise System 2005Q4 について](#)
- [このリリースで修正されたバグ](#)
- [重要な情報](#)
- [既知の問題および制限事項](#)
- [再配布可能なファイル](#)
- [問題の報告とフィードバックの方法](#)
- [Sun が提供しているその他のリソース](#)

コンポーネントに固有の情報はすべて、各コンポーネントのリリースノートに記載されています。

コンポーネントのリリースノート

コンポーネントに固有の情報はすべて、各コンポーネントのリリースノートに記載されています。次のコンポーネントのリリースノートは、<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1381.1> で参照できます。

- Sun Java System Access Manager 7 2005Q4
- Sun Java System Administration Server 5 2005Q4
- Sun Java System Application Server 8.1 2005Q4
- Sun Java System Calendar Server 6 2005Q4
- Communications Express 6
- Sun Java System Directory Proxy Server 5 2005Q4
- Sun Java System Directory Server 5.2 2005Q4
- Sun Java System Instant Messaging 7 2005Q4
- Sun Java System Message Queue 3 2005Q4
- Sun Java System Messaging Server 6 2005Q4
- Sun Java System Portal Server 6 2005Q4
- Service Registry 2005Q4
- Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 2005Q4
- Sun Java System Web Server 6.1 SP4 2005Q4

このリリースノートで紹介されているサードパーティーの URL を参照すると、追加情報および関連情報を入手できます。

注 Sun は、このリリースノートに記載されたサードパーティーの Web サイトの有効性および有用性に関して責任を負いません。Sun は、これらのサイトまたはリソースで利用可能な内容、広告、製品、他の資料に関し、それらを保証することも、責任や義務を負うこともありません。Sun は、これらのサイトやリソースで利用可能な内容、製品、またはサービスを使用または信頼することに起因するいかなる直接的または間接的な損害についても責任を負いません。

リリースノートの改訂履歴

表 1 改訂履歴

日付	説明
2006年2月	商用リリース。
2005年11月	ベータリリース。

Sun Java Enterprise System 2005Q4 について

この節の構成は次のとおりです。

- [Sun Java Enterprise System の新機能](#)
- [システム要件](#)
- [Java 2 Standard Edition の要件](#)
- [サポートされない機能](#)

Sun Java Enterprise System の新機能

表 2 Sun Java Enterprise System コンポーネントの新機能

コンポーネント製品	機能
Access Manager	<ul style="list-style-type: none">製品名が Identity Server から Access Manager に変更されました新しい認証モジュール : Java Database Connectivity (JDBC)、Mobile Station ISDN (MSISDN)、Active Directory、および Security Assertion Markup Language (SAML)ポリシー管理に、HttpURLResourceName という新しいリソース名プラグインができました <p>コンソールの拡張機能 :</p> <ul style="list-style-type: none">オブジェクトの 1 つまたは複数の属性の表示による、ナビゲーション区画への各オブジェクトタイプの表示のカスタマイズナビゲーション区画ドロップダウンメニューへの新しいオブジェクトタイプの追加 (たとえば、プリンタまたはビルドのエントリの追加) <p>連携管理 :</p> <ul style="list-style-type: none">Liberty Alliance Project (LAP) Name Identifier Mapping Protocol のサポートLAP Identity Web Services Framework (ID-WSF) Discovery Service Specification, Version 1.1 のサポートLAP ID-WSF Authentication Service Specification のサポートLAP Metadata Description および Discovery Specification のサポートLAP Liberty Identity Federation Framework (ID-FF) Extended Profiles のサポートDynamic Identity Provider ProxyingAffiliation FederationOne-time FederationName Identifier Mapping ProfileName Identifier Encryption Profile <p>Client SDK:</p> <ul style="list-style-type: none">Java アプリケーション開発者による Access Manager との統合を向上させるための、SDK パッケージの認証、サービス管理、ユーザー管理、SAML、ポリシークライアント、およびセッションの各コンポーネントへの再編成serverconfig.xml ファイルへの依存性の解消および jar ファイルのフットプリントの縮小 <p>Application Server 8.1 を Web コンテナとして調整するためのパフォーマンスチューニングスクリプトが使用できます</p>

表 2 Sun Java Enterprise System コンポーネントの新機能 (続き)

コンポーネント製品	機能
Administration Server	<ul style="list-style-type: none"> • 新機能なし
Application Server	<ul style="list-style-type: none"> • J2EE 1.4 サポート • 高パフォーマンスおよびスケーラビリティ • 高可用性 • JavaServer Faces 1.1 サポート • JavaServer Pages Standard Tag Library 1.1 サポート
Calendar Server	<ul style="list-style-type: none"> • 自動バックアップ : csstored サービスは、現在、start-cal の発行時に起動するサービスです。正しく機能するためには、設定を実行する必要があります • 読み取り専用データベース : カレンダーデータベースに対して読み取りのみを行い、更新または削除は行わないように Calendar Server を設定できます。これは、データの破壊が疑われるが本番稼働での作業にデータベースを常に使用できるようにしておかなければならない場合に、推奨します。この場合、更新または削除はできません。 • ユーザー管理ユーティリティー名の変更 : ユーザー管理ユーティリティー (コマンド行ユーティリティー) は、Delegated Administrator ユーティリティーと呼ばれるようになりました • Delegated Administrator GUI: これは新しい Delegated Administrator GUI ですが、2005Q1 リリースの Calendar Server はサポートしません • ディレクトリ作成スクリプトのインストールの変更 : インストール後の設定プログラムは、Java Enterprise System インストーラで別々にインストール可能なコンポーネントになりました。Calendar Server のインストールではバンドルされなくなりました • このリリースでは csstored サービスが追加されました
Directory Proxy Server	<ul style="list-style-type: none"> • 新機能なし
Directory Server	<ul style="list-style-type: none"> • Directory Server 5.2 2005Q1 より前のバージョンの Directory Server では、エントリの名前を変更できませんでした。Directory Server 5.2 2005Q1 では、エントリについての、名前の変更および削除ができます。 • レプリカごとの更新の順序を識別するための旧バージョン対応更新履歴ログの拡張

表 2 Sun Java Enterprise System コンポーネントの新機能 (続き)

コンポーネント製品	機能
Instant Messaging	<ul style="list-style-type: none"> Instant Messaging クライアントの更新および改善 XMPP、IETF Instant Messaging および Presence 標準プロトコル 監視機能の拡張 ウォッチドッグユーティリティーによる監視 ウォッチドッグユーティリティーの状態の確認 ウォッチドッグユーティリティーの開始および停止 Instant Messaging サーバーの監視
Message Queue	<ul style="list-style-type: none"> 『技術の概要』の新規作成 『管理ガイド』の構成の変更 『Developer Guide for Java Clients』の構成の変更 『Developer Guide for C Clients』の構成の変更 Dead Message キュー 非通知モード 接続の失敗の検出 (クライアントの Ping) クライアントメッセージ本体の圧縮 JMS リソースアダプタの変更 64 ビット C-API のサポート -p/-password コマンドの非推奨 C-API 証明書管理 C-API 基本認証サポート 新しいサンプルアプリケーション (MQPing)
Messaging Server	<ul style="list-style-type: none"> Sun Java System Communications Services 6 2005Q1 Secure/Multipurpose Internet mail Extension (S/MIME) を、Sun Java System Communications Express Mail によりサポート Internet Content Adaptation Protocol (ICAP) で動作するスパム対策およびウィルス対策プログラムのサポート ログ機能の拡張
Portal Server	新機能なし
Web Server	新機能なし

システム要件

Sun Java Enterprise System および関連するアプリケーション用に、少なくとも 100M バイトのディスク容量が必要です。Sun Java Enterprise System がサポートするオペレーティングシステムは次のとおりです。

表 3 Java ES 4 Windows をサポートするプラットフォーム

プラットフォーム	最小ハードウェア	推奨ハードウェア	RAM 最小値	RAM 推奨値	スワップスペース
Microsoft Windows 2000 SP4	PIII 512 MHz 6G バイト	PIV 1 GHz 8G バイト	512M バイト	1G バイト	2G バイト
Microsoft Windows XP SP2	PIII 512 MHz 6G バイト	PIV 1 GHz 8G バイト	512M バイト	1G バイト	2G バイト
Microsoft Windows 2003 Server	PIII 512 MHz 6G バイト	PIV 1 GHz 8G バイト	512M バイト	1G バイト	2G バイト

表 4 コンポーネントのディスクインストール領域と RAM 要件

コンポーネント	インストール用の最小限のディスク容量と RAM 要件
Messaging Server	500M バイトのディスク容量、512M バイトの RAM
Message Queue	100M バイトのディスク容量、256M バイトの RAM
Instant Messaging	300M バイトのディスク容量、512M バイトの RAM
Directory Server	100M バイトのディスク容量、512M バイトの RAM
Directory Proxy Server	200M バイトのディスク容量、512M バイトの RAM
Web Server	200M バイトのディスク容量、256M バイトの RAM
Application Server	500M バイトのディスク容量、512M バイトの RAM
Portal Server、Portal Server SRA	1G バイトのディスク容量、512M バイトの RAM
Calendar Server	300M バイトのディスク容量、128M バイトの RAM
管理サーバー	100M バイトのディスク容量、512M バイトの RAM
Access Manager	500M バイトのディスク容量、512M バイトの RAM

ディスク容量および RAM 要件の詳細は、各コンポーネントのリリースノートを参照してください。

Java 2 Standard Edition の要件

Sun Java Enterprise System は、Sun Microsystems により Java 2 Standard Edition (J2SE) 1.5 Update 4 で使用できることが検証されています。

Sun Java Enterprise System 2005Q4 には、適切なバージョンの J2SE が組み込まれています。

使用しているシステムにすでに J2SE 1.5 Update 4 実行時環境がインストールされていて、開発ツールがインストールされていない場合は、Sun Java Enterprise System の再インストール中にインストーラにより開発ツールパッケージがインストールされます。このパッケージには、Sun Java Enterprise System に必要ないくつかの機能が含まれています。使用しているシステムにインストールされている J2SE のバージョンを確認する方法と、Java Enterprise System をインストールする前にシステムを準備する方法の詳細は、<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-3313?l=ja> にある『Java Enterprise System インストールガイド』を参照してください。

サポートされない機能

- Sun Cluster および Net Connect
- サポートされていない Sun ONE 製品との相互運用性
- BEA WebLogic および IBM WebSphere の Web コンテナサポート
- Apache および IIS のロードバランササポート

このリリースで修正されたバグ

表 5 このリリースで修正されたバグ

バグ ID	説明
6286436	admin_server/windows JES3 Windows:build9: 「startconsole.exe」をクリックするとログイン画面が 2 つ呼び出されます
6295958	AS マスターパスワードを入力できず、「今すぐ設定」モードのユーザーに対してのみマスターパスワードが不明です
6295778	DA ローカリゼーションバグ: サービスパッケージの割り当てエラーメッセージがローカライズされていません。
6295774	DA ローカリゼーションバグ: 新しい組織の作成エラーメッセージがローカライズされていません
6295776	DA ローカリゼーションバグ: プロパティのエラーメッセージがローカライズされていません
6291549	インストール時に DPS の設定が失敗しました
6288482	orion/windows-install JES3 Windows:b10: DS 設定プログラムの日本語メッセージが一部壊れています。
6291493	orion/windows-install JES3-WindowsInstaller: DS の設定が例外をスローして失敗しました
6294304	JES3 Windows: AM コンソール上の IM サービスがすべて英語です
6297146	Messaging Server の起動中に、start-msg で mmp ポートがビジーかどうかを確認していません
6284053	Message Queue の Windows へのインストール時に CLASSPATH 環境変数が不必要に設定されています
6294881	ローカリゼーション: JES 3 SF b12a: 変更できる言語のオプションが「English(United States)」1 つしかありません。
6302443	JES3 Windows: グローバリゼーション - AM コンソールの Portal Server 部分で日本語と英語が混在しています
6302434	JES3 SF b12c: CCJK ロケールの「マイアプリケーション」チャネルの 2 つのリンクがありません
6316742	pdeploy が WAR 引数を説明通りに使用しません
6317223	pdeploy は Web コンテナから配備を解除しません
6327997	カレンダー、アドレス帳のページが表示されません
6327998	Windows 2003 で、ショートカットを 2 回クリックしなければホームページに移動できません

重要な情報

ここでは、次の内容について説明します。

- [パッチ情報](#)
- [障害をお持ちの方のためのアクセシビリティ機能](#)
- [Netscape Security Services 3.9.5 のサポート](#)

パッチ情報

特定コンポーネントのパッチ情報については、[2 ページ](#)の「コンポーネントのリリースノート」を参照してください。

また、SunSolve ページ <http://sunsolve.sun.com> にもアクセスしてください。このページからパッチのポータルサイトに移動します。「推奨パッチクラスタ」をクリックし、「Java Enterprise System Component Patches」を選択します。パッチを探している製品を見つけたら、その製品リンクをクリックします。

製品コンポーネントを JES3 から JES4 にアップグレードする手順については、<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-4461> にある『Sun Java Enterprise System 2005Q4 Upgrade Guide for Microsoft Windows』を参照してください。

障害をお持ちの方のためのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、Sun に米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。更新されたバージョンのアプリケーションは、

<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。

アクセシビリティに対する Sun の対応については、<http://sun.com/access> を参照してください。

Netscape Security Services 3.9.5 のサポート

Netscape セキュリティライブラリのバージョン 3.9.5 は、Java Enterprise System に含まれています。Directory Server、Directory Proxy、および管理サーバーは、`<jes-install-dir>%share%lib%` にインストールされたライブラリのバージョンに依存しますが、これらのライブラリに依存するその他すべてのコンポーネントは、`<jes-install-dir>%share%lib%jes` にインストールされたさらに新しいバージョンに依存します。

既知の問題および制限事項

この節では、Sun Java Enterprise System for Windows の既知の問題と制限事項について記載します。

この節では、次のトピックを扱います。

- [空き容量要件](#)
- [設定](#)
- [フォルダ名](#)
- [インストール先フォルダパス](#)
- [インストール](#)
- [ディスク容量](#)
- [一般的な問題](#)

空き容量要件

システムフォルダ `Temp` ディレクトリには、インストーラのサイズの 2 倍の容量が必要 (6237302)、(6264346)

コンピュータのユーザーの `Temp` フォルダには、インストーラのサイズの 2 倍の空き容量を確保してください。たとえば、インストーラの `zip` ファイルのサイズが 380M バイトである場合、デフォルトのシステムドライブ `[C:] Temp` フォルダには $380 \times 2 = 760\text{M}$ バイトの空き容量が必要であり、同じ要件がインストールディレクトリにも適用されます。これは `InstallShield` の要件でもあります。また、他のドライブ `[D:]` または `[E:]` にインストールする場合にも適用されます。そのドライブに 780M バイト以上の空き容量を確保してください。

回避策

`Temp` フォルダは、ユーザー環境変数セクションでデフォルト値が `%USERPROFILE%\temp` となっている `TEMP` および `TMP` 変数に異なる値を設定することで変更できます。

注 ユーザーの TEMP 変数を %USERPROFILE%\temp 以外の値に変更したとしても、インストーラを「アプリケーションの追加と削除」の「プログラムの変更と削除」オプションから呼び出す場合には、さらに将来参照する .msi ファイルを格納するための領域をシステムドライブに確保する必要があります。

設定

「インストール後に手動で設定」モードで、ユーザー ID またはパスワードの後ろにスペースがあると、設定が失敗する (6232650)

「インストール後に手動で設定」モードで、いずれかの製品のプロパティファイル内のユーザー ID またはパスワードの後ろにスペースがあると、製品の設定を正常に行えなくなります。

回避策

ありません。

「インストール中に自動的に設定」モードで、パスワードが Windows 上の設定プログラムに引き渡される際にプレーンテキストで保存される (6247136)

インストール時に評価目的で「インストール中に自動的に設定」オプションが選択されている場合は、管理者パスワードが設定ファイル installer.properties 上にクリアーテキストで保存されることに注意してください。このファイルの保護とバックアップを行うことをお勧めします。

フォルダ名

フォルダ名にスペースが含まれるフォルダに Sun Java ES をインストールできない (6293986)

たとえば、Program Files フォルダの場合、語と語の間にスペースのない ProgramFiles という名前にする必要があります。

回避策

ありません。

インストール先フォルダパス

インストール先フォルダパス「/」が zh_CN ロケールで正しく表示されない (6290945)

Windows 2000 AS に Sun Java ES 3 をインストールする場合、「インストール先の場所を選択」パネルのデフォルトのパスは c:/Sun/ です。中国語では、「/」が RMB 文字として表示されます。

回避策

ありません。

インストール

Sun Java ES のインストール中に、Web コンテナ (WS/AS) を選択するパネルが使用できない (6282934)

Sun Java ES Web コンテナダイアログボックスは、インストール時に「製品の選択」パネルで Web コンテナ (Application Server または Web Server) を何も選択していない場合にのみ表示されます。

回避策

ありません。

「インストール中に自動的に設定」中にディスクパッチャーがハングアップする : Microsoft Windows XP (6278215)、Microsoft Windows 2003 (6336350)

回避策

1. Ctrl+C を押してインストール中の起動を停止し、インストールを続行します。
2. インストール完了後、コマンド行で start-msg を使用して Messaging Server を起動します。

Access Manager、Portal Server、UWC、および DA をターゲット Application Server 仮想サーバーとして使用する場合、AppServer1 を使用サーバーにする必要がある (6287671)

Solaris との相違点 : 評価設定での配備に使用されるインスタンス名は「Appserver1」です。この時点で、配備が「server」インスタンス上で行われる Solaris と異なります。

Web Server が自動的に選択され、選択を解除できない (6355622)

Application Server が選択されると、すべてのサブコンポーネントがデフォルトで選択状態になります。

回避策

ロードバランス機能を必要としない場合は、ロードバランサの選択を解除してください。これにより、Web Server の選択も自動的に解除されます。

ファイアウォールが実行されていると、Sun Java ES 3 Windows カスタマが Sun Java ES のインストールおよび設定を行えない (6262294)

回避策

システムで実行中のファイアウォールがある場合は、ファイアウォールのサービスを無効化および停止してシステムを再起動します。再起動後、サービスが無効化されていることを確認してください。それから Java ES のインストールを開始します。インストールが完了すれば、サービスを再開できます。

サービスの無効化は、クライアント UI または Windows サービスアプレットから行えます。

JES 製品コンポーネントのインストールおよびアンインストールを行ったことがある場合は、どのインストールであっても事前にレジストリエントリのチェックが必要 (6370081)

回避策

インストールの前に HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE\Sun Microsystems¥EntSys レジストリが存在しているかどうか確認します。存在している場合は、エントリを手動で削除してください。

Windows フォルダからインストールを開始すると、Message Queue が 2 回選択され Message Queue の設定がハングアップする (6378426)

回避策

DVD のルートフォルダにある Setup.bat を使用して、インストーラを呼び出す必要があります。Windows¥Setup.exe を使用すると、Message Queue の設定がハングアップする原因となります。

ネットワークインストールを使用する場合は、Setup.bat と autorun.inf をルートフォルダ、および同じディレクトリ階層にある Windows フォルダからコピーする必要があります。

ディスク容量

Sun Java ES - MQ PE distro インストールで致命的なエラーが起きる (6285856)

Sun Java ES のインストールで、十分なディスク容量がないドライブにインストールし、途中で別のディスク容量が十分にあるドライブに切り替えると、致命的なエラーになります。

インストールを始める前に、製品をインストールするドライブに十分な容量があることを確認してください。現在のドライブに十分なメモリー容量がないことを示すエラーメッセージが表示されると、別のドライブへシフトできなくなります。インストーラは致命的なエラーを報告して、異常終了します。

一般的な問題

- Java ES RR ビルドでリバースプロキシがテストされていない (6298197)
- ゲートウェイが2種類のサブネットについてテストされていない (6299958)
- システムに完全修飾ドメイン名がない (6355626)

『Sun Java Enterprise System インストールガイド (Microsoft Windows 版) (819-5408)』のトラブルシューティングの章にある「DNS サフィックスの確認」を参照してください。

コンポーネントごとの既知の問題および制限事項の詳細な一覧は、次に示す各コンポーネントのリリースノートを参照してください。

Access Manager

『Access Manager 7 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5801?l=ja>

Administration Server

『Administration Server 5 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5808?l=ja>

Application Server

『Application Server Enterprise Edition 8 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5815?l=ja>

Calendar Server

『Calendar Server 6 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5822?l=ja>

Directory Proxy Server

『Directory Proxy Server 5 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5829?l=ja>

Directory Server

『Directory Server 5 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5847?l=ja>

Instant Messaging

『Instant Messaging 7 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5787?l=ja>

Messaging Queue

『Message Queue 3 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5854?l=ja>

Message Server

『Messaging Server 6 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5861?l=ja>

Portal Server

『Portal Server 6 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5868?l=ja>

Service Registry

『Service Registry 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5889?l=ja>

Web Proxy Server

『Web Proxy Server 4.0.1 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5882?l=ja>

Web Server

『Web Server 6.1 SP4 2005Q4 リリースノート (Microsoft Windows 版)』を参照。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-5875?l=ja>

再配布可能なファイル

Sun Java Enterprise System 2005Q4 には、再配布可能なファイルはありません。

問題の報告とフィードバックの方法

Java Enterprise System で問題が発生した場合は、次のいずれかの方法でご購入先のカスタマサポートに連絡してください。

- 次のアドレスにある、ご購入先のソフトウェアサポートサービス
<http://www.sun.com/service/sunone/software>

このサイトには、メンテナンスプログラムおよびサポート連絡先番号だけでなく、ナレッジベース、オンラインサポートセンター、および **Product Tracker** へのリンクがあります。

- 保守契約を結んでいるお客様の場合は、専用ダイヤルをご利用ください。

問題解決のお手伝いをするにあたって、サポートに連絡するには次の情報をご用意ください。

- 問題の説明。問題が発生する状況や、その問題が操作に及ぼす影響など
- マシン機種、OS のバージョン、および製品のバージョン。問題に影響を及ぼしている可能性のあるパッチその他のソフトウェアなど
- 問題を再現するための詳細な手順の説明
- エラーログまたはコアダンプ

コメントの送付方法

Sun では、マニュアル品質改善のため、ユーザーの皆様のご意見、ご提案をお待ちしています。

コメントを共有するには、<http://docs.sun.com> に移動し、「コメントの送信」をクリックします。オンラインフォームでは、マニュアルのタイトルおよび **Part No.** が提供されています。**Part No.** は、マニュアルのタイトルページか先頭に記述されている 7 桁または 9 桁の番号です。たとえば、このマニュアルのタイトルは『Sun Java Enterprise System リリースノート (Microsoft Windows 版)』であり、**Part No.** は 819-5794 です。

Sun が提供しているその他のリソース

次の Web サイトには、役立つ Sun Java System 情報があります。

- Sun Java System のマニュアル
<http://docs.sun.com/prod/java.sys>
- Net Connect のマニュアル
http://docs.sun.com/prod/coll/NCdot1_collection_en
- Sun Java System プロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/sunps/sunone>
- Sun Java System のソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun Java System ソフトウェアサポートサービス
<http://www.sun.com/service/sunone/software>
- Sun Java System のサポートとナレッジベース
<http://www.sun.com/service/support/software>
- Sun のサポートおよびトレーニングサービス
<http://training.sun.com>
- Sun Java System コンサルティングおよびプロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/sunps/sunone>
- Sun Java System 開発者向け情報
<http://sunsolve.sun.com>
- Sun 開発者サポートサービス
<http://www.sun.com/developers/support>
- Sun Java System ソフトウェアトレーニング
<http://www.sun.com/software>
- Sun ソフトウェアデータシート
<http://wws.sun.com/software>

Copyright © 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、この製品に含まれるテクノロジーに関する知的所有権を保持しています。特に限定されることなく、これらの知的所有権は <http://www.sun.com/patents> に記載されている 1 つ以上の米国特許および米国およびその他の国における 1 つ以上の追加特許または特許出願中のものが含まれている場合があります。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

ご使用はライセンス条項に従ってください。

この配布には、第三者が開発したソフトウェアが含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun が提供しているその他のリソース